

# 自宅から使えるデータベースの紹介（リンク利用編）

2024.4 現在

インターネット上には、誰もが無料で閲覧可能（オープンアクセス）なデータベースがあります。

学術論文、電子ブック、法令などが、いつでも・どこからでも閲覧可能です。

ここでは、図書館ホームページのリンクから利用できるオープンアクセスのデータベースの一部を紹介します。

# ■リンクから利用できるデータベース

こちらで紹介するデータベースは、各データベースのリンクから利用できます。以下の方法で利用してください。

## 図書館HP



図書館HP内、“自宅から使えるデータベース”の横の+マークをクリックし、下に出てくる“自宅から使えるデータベース一覧”をクリック



または、“自宅から使えるデータベース”のバナーをクリック

画面中央、“リンクから利用”のプルダウンからアクセスできます。目的のデータベースのリンクをクリックして利用してください

**リンクから利用**

データベース名をクリックして利用してください。  
リンクから使えるデータベースの紹介資料は[こちら](#)

データベース名	言語	内容
Cinii Research	日本語	日本の学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなどの学術論文情報
J-STAGE	日本語	日本の機関が発行した、ジャーナルや会議録等の刊行物
IRDB	日本語	日本の学術機関リポジトリに登録された論文等
国立国会図書館 電子コレクション	日本語	国立国会図書館が公開している電子資料 ※ 国立国会図書館/図書館送信限定マークのある資料は 図書館送信不可
国立公文書館 アジア歴史資料センター	日本語	国立公文書館が所蔵するアジアに関する公文書等
宇宙航空文献情報 公開システム	日本語	日本の宇宙航空関連機関の学術文献
HathiTrust Digital Library	英語	アメリカの大学図書館が公開している電子資料
British Library	英語	イギリス国立図書館が所蔵する資料の所蔵情報
UN Comtrade	英語	国際貿易統計と関連する分析テーブル
IMF Data	英語	IMF（国際通貨基金）が提供する経済、財務データ情報

# CiNii Research (国内論文)

国立情報学研究所 (NII) が提供する学術情報検索サービス。  
国内論文、博士論文、大学等研究機関所蔵情報、機関リポジトリ等の研究データなどを横断的に検索することができます。

The screenshot shows the CiNii Research search page. At the top, there are navigation links: "論文・データをさがす", "大学図書館の本をさがす" (highlighted with a red box), and "日本の博士論文をさがす". A red arrow points from a text box to the "大学図書館の本をさがす" link. The text box says: "ここをクリックすると、国内の大学図書館等が所蔵する本を検索できる「CiNii Books」に切り替えることができます。"

Below the navigation is the search area with a "フリーワード" input field and a "検索" button. There are also fields for "タイトル", "人物/団体名", "ISSN", "DOI", and "期間". Below these are checkboxes for "本文リンク" (checked) and "データソース" (including KAN, JaLC, IRDB, Crossref, DataCite, CiNii Dissertations, CiNii Books, etc.).

A yellow callout bubble on the left says: "キーワードを入力して検索できます".

Another yellow callout bubble at the bottom says: "「本文リンクあり」をチェックすると本文が読める論文のみ(※)を検索できます。"

The screenshot shows a research article page titled "食教育を活用したESD 研修プログラム～持続可能な人材育成と食教育～". A red box highlights the "機関リポジトリ" link. A yellow callout bubble points to this link with the text: "「機関リポジトリ」をクリックすると掲載サイトに移動することができます。無料で論文を閲覧可能！"

Below the title, there are author names: 小金澤, 孝昭, 鎌田, 広朗, 岡, 正明, 氏家, 幸子, 小野寺, 勝徳.

The article content includes a "抄録" (Abstract) section, which is partially visible.

At the bottom, there is a "収録刊行物" (Published in) section listing "宮城教育大学紀要 = Bulletin of Miyagi University of Education".

(※) 一部、ユーザー登録や学会への入会が必要な論文あり

▲ CiNii Researchより▶

# その他、国内論文検索サービス



## J-STAGE

日本の機関が発行した、ジャーナルや会議録等の刊行物を無料で検索・閲覧(※)できます。工学、生物学、人文・社会科学などの幅広い分野のコンテンツを掲載しています。

(※) 一部、ユーザー登録や学会への入会が必要な論文あり

▲J-STAGEより

## IRDB

日本の学術機関リポジトリに登録された学術情報（学術雑誌論文、学位論文、研究紀要、研究報告書等）を無料で検索・閲覧できます。

IRDBより▶



# 国立国会図書館デジタルコレクション (国会図書館所蔵デジタル資料)

国立国会図書館が収集・保存しているデジタル資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な資料を検索・閲覧できます。

※ 「送信サービスで閲覧可能」と書かれた資料は図書館内でしか利用できません。

利用希望の際は図書館カウンターまでお問い合わせください。



▲国立国会図書館デジタルコレクションより

**国立国会図書館サーチ**

国立国会図書館の所蔵を検索するにはこちら。その他、日本の各図書館が所蔵する資料の所蔵情報を検索できるサービスです。



リンクから利用できる学修に役立つデータベースの一部を紹介します。

<b>カーリル</b>	<p>日本の公共図書館が所蔵する資料の所蔵情報を検索できます。 図書館名や都道府県名で、目的の資料を所蔵している図書館を検索することができます。 位置情報をONにすれば、現在地に近い図書館の所蔵も調べられます。 希望する資料が大学にない時や、近くの図書館で資料を集めたい時に便利です！</p>
イーガブ <b>e-Gov</b>	<p>総務省行政管理局が運営する総合的な行政情報ポータルサイトです。 「e-Gov法令検索」から、<u>現行の法令を検索することができます。</u> また、日本の法令の外国語訳版や条約、パブリックコメント、行政文書を検索・閲覧することができます。</p>
<b>国立公文書館 アジア歴史資料 センター</b>	<p>国立公文書館が運営する<u>アジア歴史資料</u>（アジア近隣諸国等との関係に関わる公文書及びその他の記録）を検索・閲覧できるサービスです。</p>
ハーティラスト <b>HathiTrust</b> デジタルライブラリー <b>Digital Library</b>	<p>米国の大学図書館等が協同で運営しているデジタルアーカイブです。 米国大学図書館の図書や雑誌、連邦政府文書等、1千万点以上のコンテンツを閲覧できます。</p>

